

くらしと経済をこわす 消費税率10%への増税に反対する請願

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願趣旨

菅首相は、消費税率10%とっています。一世帯平均16万円の負担増です。

私たちのくらしは、収入が減り続け、医療・年金・介護などの負担が増えて苦しくなっています。菅首相の「消費税10%」宣言に怒りと不安がひろがっています。そもそも消費税は、所得の低い人ほど負担が重い“くらし破壊税”です。大企業は1円も負担せず、中小企業や消費者だけがしわ寄せを受ける最悪の不公平税制です。

菅内閣は、消費税増税と法人税減税をセットで提案しています。財界は、法人税を15%下げろとっています。これは消費税にすると4%になります。これでは、消費税を5%上げたほとんどが法人税減税の“穴埋め”に使われてしまいます。こんなやり方では、財政再建にも、社会保障財源にも役立たず、庶民の家計をこわし、消費を冷やし、景気をいよいよ悪化させるだけです。

社会保障などの財源は、米軍への思いやり予算などのムダを削り、体力がある大企業や大資産家の優遇税制を改め、応分の負担を求めれば生み出すことができます。

請願事項

消費税率10%への増税はキツパリやめること

氏名	住所

日本共産党